

吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託に係る
プロポーザルの審査結果について

東、吹六、豊一の3か所の留守家庭児童育成室について、平成31年度から運営を業務委託する事業者を公募した結果、3か所に1から3の事業者から応募がありました。

吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会（以下「事業者選定等委員会」という。）において事業者の提案を厳正に審査し、以下のとおり委託予定事業者（最優秀提案者）を決定し、委託契約を締結しました。

1 業務名及び選定結果

(1) 業務名称：吹田市立 東 留守家庭児童育成室運営業務
選定事業者（二次審査通過事業者）はありませんでした。

(2) 業務名称：吹田市立 吹六 留守家庭児童育成室運営業務
委託予定事業者：特定非営利活動法人スポキッズ（長崎県諫早市城見町3-16）
理事長 宮崎 拓哉
契約締結日：平成31年2月8日
履行期間：平成31年2月12日から平成34年3月31日まで
（平成30年度中の引継保育を含む。）
契約金額：70,340,000円

(3) 業務名称：吹田市立 豊一 留守家庭児童育成室運営業務
選定事業者（二次審査通過事業者）はありませんでした。

2 募集及び選定の日程

(1) 募集期間

平成30年11月1日（木）から同年11月15日（木）まで

(2) 一次審査

平成30年12月2日（日）

(3) 二次審査

平成30年12月9日（日）

3 応募状況

5の事業者から、各1育成室に対して、延べ5件の応募がありました。

応募事業者	応募育成室		
	東	豊一	吹六
A	○		
B		○	
C			○
D			○
E			○

※ ○：事業者が応募した留守家庭児童育成室

4 事業者選定等委員会

(1) 委員

- ア 学識経験者 2人
- イ 公認会計士、税理士その他会計に関し専門的知識又は経験を有する者 1人
- ウ 吹田市立の小学校の校長 1人
- エ 吹田市の職員 1人

(2) 特別委員

当該留守家庭児童育成室に入室する児童の保護者 各2人
それぞれ、当該留守家庭児童育成室に応募する事業者のみ審査を行いました。

5 一次審査

(1) 書類審査

公募に参加した事業者から提出された「事業実施計画書」、「収支計画書」等の提案書類をもとに事業者選定等委員会が「吹田市立留守家庭児童育成室運營業務委託事業者選定に係る評価項目と基準【一次審査用】」を基に総合的に評価して得点化し、出席委員の半数以上から65点以上の採点を獲得した応募者を一次審査通過事業者としました。

※「吹田市立留守家庭児童育成室運營業務委託事業者選定に係る評価項目と基準」は別紙のとおり。

(2) 審査結果

ア 吹田市立 東 留守家庭児童育成室運營業務

事業者	採点委員数	合計評価点	65点以上の委員数
A	7	445	5

応募事業者1者中、1者（A事業者）が一次審査を通過しました。

イ 吹田市立 豊一 留守家庭児童育成室運営業務

事業者	採点委員数	合計評価点	65点以上の委員数
B	7	476	5

応募事業者1者中、1者（B事業者）が一次審査を通過しました。

ウ 吹田市立 吹六 留守家庭児童育成室運営業務

事業者	採点委員数	合計評価点	65点以上の委員数
D	7	427	3
E	7	449	2

事業者	委員別評価点								65点以上の委員数
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計	
(特非)スポキッズ	65	72	60	73	74	66	61	471	5

応募事業者3者中、1者（特定非営利活動法人スポキッズ）が一次審査を通過しました。

6 二次審査

(1) プレゼンテーション

一次審査通過事業者によるプレゼンテーションとヒアリングを行い、選定等委員会が、その内容について「吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定に係る評価項目と基準【二次審査用】」を基に総合的に評価して得点化し、出席委員の半数以上から配点合計が65点以上かつ出席委員の配点合計の平均が65点以上の採点を獲得しており、かつ評価項目2『留守家庭児童育成室の運営方針について』及び7『指導員体制について』の各審査基準において、出席委員の半数以上から「やや劣っている」以下の評価を受けておらず、その他の評価項目においては、出席委員の半数以上から「劣っている」の評価を受けていない応募者の内、出席委員の採点合計が最上位の事業者を最優秀提案者として選定しました。

(2) 審査結果

ア 吹田市立 東 留守家庭児童育成室運営業務

事業者	委員別評価点								65点以上の委員数	平均点	評価項目別の満たすべき基準
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計			
A	61	62	65	71	81	42	36	418	3	59.7	満たさず

1事業者を審査した結果、選定事業者（二次審査通過事業者）はありませんでした。

イ 吹田市立 豊一 留守家庭児童育成室運営業務

事業者	委員別評価点								65 点以上の委員数	平均点	評価項目別の満たすべき基準
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計			
B	34	54	64	39	77	21	22	311	1	44.4	満たさず

1 事業者を審査した結果、選定事業者（二次審査通過事業者）はありませんでした。

ウ 吹田市立 吹六 留守家庭児童育成室運営業務

事業者	委員別評価点								65 点以上の委員数	平均点	評価項目別の満たすべき基準
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計			
(特非)スポキッズ	62	65	66	68	79	67	67	474	6	67.7	満たす

1 事業者を審査し、特定非営利活動法人スポキッズを最優秀提案者として選定しました。

7 吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定に係る評価項目と基準別紙（次頁）のとおり

吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定に係る評価項目と基準

1 【一次審査用】

評価項目	審査基準	配点
1 応募動機について	○動機について ○福祉の向上及び増進を見据えたものか	5
2 法人の経営基盤・活動実績・理念などについて	○長期間、安定した事業運営が継続できる財政基盤であること。 ○児童の福祉や教育に関する理解や取組み姿勢 ○活動実績の状況	5
3 留守家庭児童育成室の運営方針について	【児童の健全育成に対する取組みや方針】 ○児童に対する保育内容が望ましいものか ○堅実性や継続性が高いか ○業務開始までに、十分な引継保育が行えるか ○放課後児童健全育成事業の趣旨を十分理解しているか	15
	【保護者との連携】 ○保護者への情報提供の方法について ○保護者の理解・協力を得た円滑な運営が可能か ○保護者支援の姿勢	10
	【学校との連携】 ○学校との良好な連携体制を築き、円滑な運営が可能か	5
4 支援を要する児童の受入について	○障がい児に関する十分な知識を有し、必要な配慮や支援などの対応が可能か	10
5 児童虐待への対応について	○虐待防止についての意識の高さ、迅速に対応できる体制等	10
6 緊急時の連絡体制、安全対策について	○緊急時の連絡体制が整っているか ○安全に対する意識や取組み姿勢が十分か	10
7 守秘義務、個人情報の取扱いについて	○守秘義務、個人情報保護についての意識の高さ、適正な管理監督について	5
8 職員体制について	○集団での保育や教育に関して経験を有する者がどの程度配置されるか	5
	○安定して継続的に配置できるか	5
	○過重労働とならないよう配慮がなされているか	5
	○職員の質の向上に努めているか	5
9 収支計画書について	○事業費の積算が合理的か ○事業費の配分が適切か ○充実した事業運営が実施できると認められるか	5
合計		100

2 【二次審査用】

評価項目	審査基準	配点
1 応募動機や法人の理念、経営基盤などについて	○動機について ○児童の福祉や教育に関する理解や取組み姿勢、活動実績	5
	○長期間、安定した事業運営が継続できる財政基盤であること。	5
2 留守家庭児童育成室の運営方針について	【児童の健全育成に対する取組みや方針】 ○児童に対する保育内容が望ましいものか ○堅実性や継続性が高いか ○業務開始までに、十分な引継保育が行えるか ○放課後児童健全育成事業の趣旨を十分理解しているか	20
	【保護者との連携】 ○保護者への情報提供の方法について ○保護者の理解・協力を得た円滑な運営が可能か ○保護者支援の姿勢	10
	【学校との連携】 ○学校との良好な連携体制を築き、円滑な運営が可能か	5
3 支援を要する児童の受入について	○障がい児に関する十分な知識を有し、必要な配慮や支援などの対応が可能か	10
4 児童虐待への対応について	○虐待防止についての意識の高さ、迅速に対応できる体制等	10
5 緊急時の連絡体制、安全対策について	○緊急時の連絡体制が整っているか ○安全に対する意識や取組み姿勢が十分か	5
6 守秘義務、個人情報の取扱いについて	○守秘義務、個人情報保護についての意識の高さ、適正な管理監督について	5
7 職員体制について	○集団での保育や教育に関して経験を有する者がどの程度配置されるか	10
	○安定して継続的に配置できるか	5
	○過重労働とならないよう配慮がなされているか	5
	○職員の質の向上に努めているか	5
合計		100

3 採点の基準

審査基準ごとに、次の通り 5 段階評価して採点し、合計点数を求める。

～5 段階評価～

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 特に優れている | 配点の 5 分の 5 |
| (2) 優れている | 配点の 5 分の 4 |
| (3) ふつう | 配点の 5 分の 3 |
| (4) やや劣っている | 配点の 5 分の 2 |
| (5) 劣っている | 配点の 5 分の 1 |

4 一次審査（書類審査）

公募に参加した事業者から提出された「事業実施計画書」（様式第 3 号）をもとに選定等委員会が「吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定に係る評価項目と基準【一次審査用】」（別紙）を基に総合的に評価して得点化し、出席委員の半数以上から配点合計が 65 点以上の採点を獲得した応募者を一次審査通過事業者とする。

5 二次審査（プレゼンテーション）

一次審査通過事業者は、二次審査において事業実施に関するプレゼンテーションを行うとともにヒアリングを受け、選定等委員会は、その内容について「留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定に係る評価項目と基準【二次審査用】」を基に総合的に評価して得点化し、出席委員の半数以上から配点合計が 65 点以上かつ出席委員の配点合計の平均が 65 点以上の採点を獲得しており、かつ評価項目 2 『留守家庭児童育成室の運営方針について』及び 7 『指導員体制について』の各審査基準において、出席委員の半数以上から「やや劣っている」以下の評価を受けておらず、その他の評価項目においては、出席委員の半数以上から「劣っている」の評価を受けていない応募者の内、出席委員の採点合計が最上位の事業者を最優秀提案者として選定する。

最上位の事業者が 2 者以上あるときは（同点の場合）、当該事業者の内、一次審査における採点合計が最も高い事業者を選定する。それでもなお同点の場合は、後日、当該事業者によるくじ引きにより、最優秀提案者を決定する。